

1 Topics

ザ・チーム 勝ち負けの向こう側

「相撲に恋した女子大生 女子相撲 佐野清香」

放送予定: BS11 7月6日(土) 午後9:00~9:30



勝負の世界でひたむきに頑張るアスリートチームを紹介するこの番組。今回の主人公は、まわしを締めて戦う女子大生!女子相撲超軽量級の選手、佐野清香。5歳から相撲を始め、全国大会優勝を重ねてきた。現在は大学の相撲部に所属。部員8名中、女子は佐野ただ1人。練習相手の先輩男子の卒業を前に、佐野は相撲からの引退を考えていた。先輩と佐野のラストイヤー、立ち合いの強い当たりを武器にした「自分の相撲」で全国大会優勝を目指す。土俵の上の一瞬にかける、彼女の戦いを追う。

つづやまき
製作スタッフの

ライフセービング競技の一つであるビーチ・フラッグスはパラエティで見て知っていました。でも、スタート合図のビッ!という笛は「人の悲鳴」を模していて、フラッグは「救助を求める人」だったとは知らなかった!しかし、救助を求める人を奪い合い、そこに思っきりダイブとは…いや、競技とレスキューはまた別なのだ!

ディレクター 小林未緒

「相撲」と聞くと、ごつい体を想像するかもしれませんが、佐野さんは超軽量級(50kg以下)の選手、身長153cm小柄でふんわりと可愛い印象です。しかし、土俵に上がると表情がガラッと変わり、鋭い力士の眼光で相手を睨みつけます。その立ち合いの迫力と美しさにすっかりやられてしまいました。相撲部の稽古場は床が土。裸足でひんやりとした土をぐっと踏む様子は、力強く、気持ち良さそう。私も久しぶりに素足で土の上を歩きたくなりました。

ディレクター 中井佐和子

ライフセーバー 田中綾

放送予定: BS11 7月13日(土) 午後9:00~9:30



提供: 日本ライフセービング協会

今回の主人公は、ライフセービング日本代表の女子大生、田中綾(20)。ライフセービングは、水難事故の人命救助から生まれたスポーツ。田中は高校生になるまで泳げなかったが、「大切な人が目の前で倒れたら、あなたには何ができますか?」という言葉に心動かされ、ライフセーバーを目指すように。今夏、日本代表として世界と戦う田中に密着。日の丸を背負う20歳の覚悟とは。

2 Topics

ザ・ノンフィクション

「運命を背負い続けて ~柔道家族 朝飛家の6年~」

放送予定: フジテレビ 7月7日(日) 午後2:00~2:55



1年後に迫った東京オリンピック。その出場を、運命づけられた子供たちがいます。朝飛七海、真実、太陽の3姉弟は、父が館長をつとめる名門柔道場・朝飛道場の子供として生まれました。父も母も柔道家。3姉弟は東京オリンピックへの出場をめざし、柔道づけの毎日を送ります。朝飛家がオリンピックをめざす理由・・・それは、1964年の東京オリンピックにありました。55年前、祖父が噛み締めた思いとは?東京オリンピックへの出場という、運命を背負い続けた朝飛家の6年の記録。果たして、子供たちの行方は?



Topics 3

コズミックフロント☆NEXT

アポロ11号 50年目の真実～はるかなる月へ～

放送予定: NHK-BSプレミアム 7月18日(木) 午後10:00～10:59
再放送: 7月24日(金) 午後11:45～0:44



宇宙の謎に迫るコズミックフロント☆NEXT。50年前の1969年7月20日、人類は初めて月面着陸に成功した。アポロ11号は、いかにして前人未到の快挙を成し遂げたのか…? 当時録音された宇宙飛行士たちの肉声を使い、忠実な再現ドラマを制作。宇宙飛行士と管制室とのやりとりを中心に、アポロ11号が地球を飛び立ち帰還するまでの8日間を2本シリーズで描く。

アポロ11号 50年目の真実～危機を乗り越えて～

放送予定: NHK-BSプレミアム 7月25日(木) 午後10:00～10:59
再放送: 7月31日(金) 午後11:45～0:44



ついでに
ついでに

編集集中に長男が誕生した。名前は、人類で最初に月に立ったニール・アームストロングからあやかりうと思った。“Neil”を調べると、“光る・輝く”という意味があるらしい。シンプルに光(ひかる)にしようと思った。ところがニール・アームストロングの半生を振り返ると、実はあまり幸せではなかったらしい。一時の輝きが強すぎて、後の人生に濃い影を落としていた。我が子には、偉業を達成しなくても人並みに幸せな人生を送ってほしいと願い、別の名を付けることにした。

ディレクター 佐藤雅俊

Topics 4

『フランス人がときめいた日本の美術館』

放送予定: BS11 毎週金曜 午後8:00～9:00
MX 毎週木曜 午後8:00～9:00



#38 軽井沢千住博美術館
出演者: 近衛はな / ゲスト: 千住博



#39 大分県立美術館
出演者: 藤田可菜



#40 サントリー美術館
出演者: 福井セリナ

日本に恋したフランス人美術史家ソフィーさんがセレクトした美術館めぐりの番組です。それぞれの美術館で、ソフィーさんの見るべきポイントをもとにアートを楽しみ、新たな発見とときめきを感じる1時間。さあ、ナレーター椎名桔平さんの誘いで極上の旅に出かけましょう。

7月12日(金)&18日(木)	7月19日(金)&7月25日(木)	7月26日(金)&8月1日(木)
#38 軽井沢千住博美術館 (長野県北佐久郡軽井沢町)	#39 大分県立美術館 (大分県大分市寿町)	#40 サントリー美術館 (東京都港区赤坂)



第10回
ディレクター 倉田清香

番組名 / ETV特集「佐藤さんとサンくん～難民と歩む あかつきの村～」

新緑、木洩れ日、一日5回の赤城山ドライブ。サンくんと佐藤さんの姿、全てに心を奪われた。彼らの物語を通して、戦争、難民、移民、故郷を離れ異国で働くこと、介助、介護など、様々なことが頭の中を過ぎり、現実が突きつけられていくにも関わらず、しかし、最終的に心に残ったのは、苦しさを超えて、幸福感だった。サンくんと佐藤さんの笑顔は忘れられない。この番組のおかげで、「手当て」という言葉が好きになりました。

記憶に残るテレビ番組

～若者の“テレビ離れ”が進んでも…テレビはやっぱり面白い！
DJ 若手スタッフがおすすめの一本をご紹介します～

10

制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です！詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

編集後記

趣味が高じたバンド活動で、高齢者施設を回りボランティアライブを行っている友人がいる。「見に来ない？」と誘われ、冷やかしのつもりで足を運んだ。『ザ・ヒットパレード』のテーマソングから始まり、60年代ポップスで高齢者を青春時代に誘い、ベタなギャグで笑いをとり、最後は客席と一体になっての大合唱。一緒に熱唱しながら、この先の人生に光明を得た。

(M.Y)

Design by HARIMA koutarou